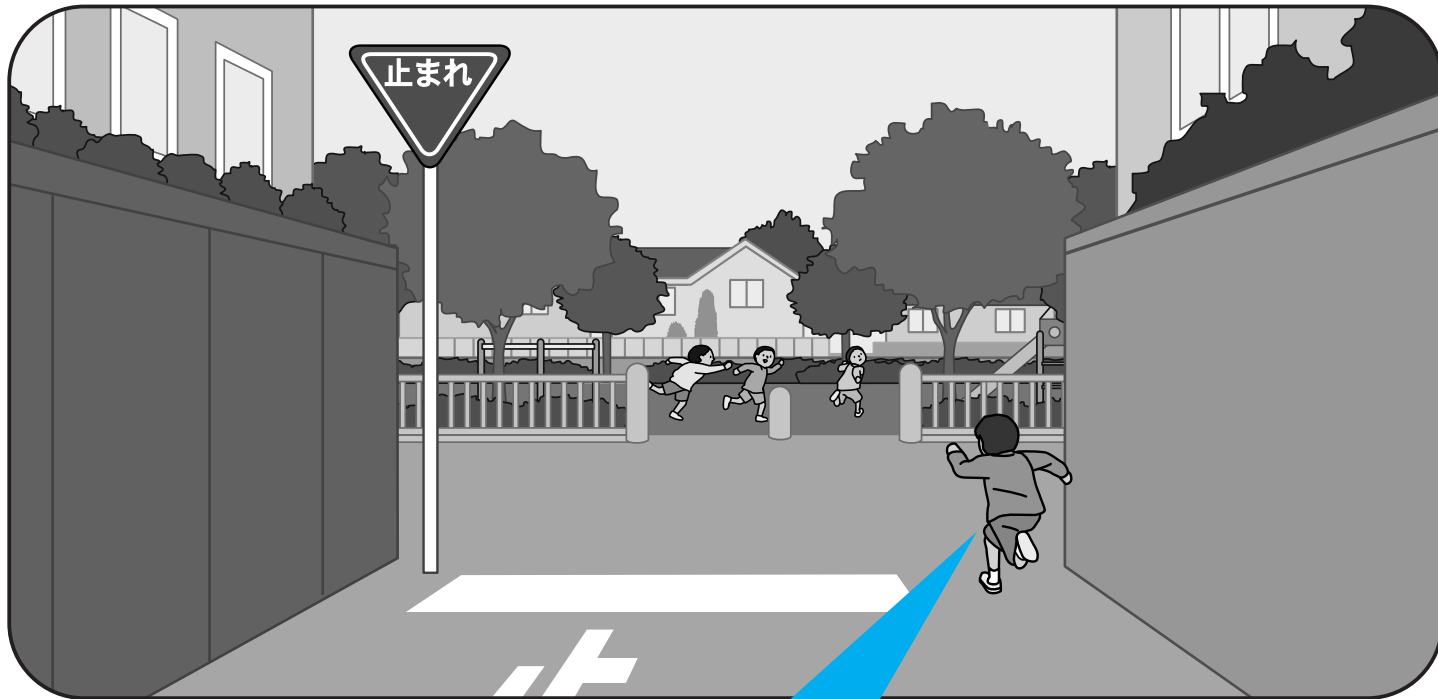


危険予測トレーニング(KYT) — 危険感受性を育てる

第33回 見通しの悪い交差点を横断する時(子ども編)

交通事故を防止するためには、路上で出会うさまざまな危険を予測することが大切です。このコーナーでは危険感受性を高めるための題材を提供します。今回は子どもに、見通しの悪い交差点を横断する時の危険について考えてもらうためのKYTです。



活用方法

- ① 少人数のグループをつくりまします。
- ② 「交通場面のイラスト」を見せながら、意見を出し合います。
- ③ その後、「解答・解説※」を参考にして、どんなことに気をつけて運転すれば良いか再び話し合ってください。

※「解答・解説」と「交通場面のイラスト(カラー・A4版)」は下記SJホームページでご覧いただけます。またPDFファイルもダウンロード(無料)できます。

ホンダ SJ

検索

【使用上の注意】

- 営利目的での利用はおやめください。
- 内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください。
- その他、使用に関するご質問はお問い合わせください。

本田技研工業(株) 安全運転普及本部
TEL: 03 (5412) 1736
E-mail: sj-mail@spirit.honda.co.jp

あなたは友だちと遊ぶために公園に向かっています。
公園では友だちが遊び始めているので、
あなたはそれに加わろうとしています。

安全に通過するには、どのようなことを
予測する必要がありますか？

©本田技研工業(株)

指導者ファイル 14

このコーナーでは、地域で活躍する交通安全教育に携わる指導者の方々を紹介していきます。



尼崎市総務局生活安全課の皆さん
写真左から、浜佳世さん、吉本真弓さん、水口猛さん、岡村福代さん

市民に愛され続けるキャラクターで安心感のある指導を

尼崎市は兵庫県の東南部に位置し、約45万人が暮らす都市である。同市では生活安全課の職員4名が、主に子どもや高齢者への交通安全教育にあたっている。平成24年度は警察と連携して、交通安全教室を212回開催し、約1万7000人の市民に教育指導を行った。そうした実績が評価され、尼崎市は今年5月、兵庫県交通安全対策委員会会長である井戸敏三・兵庫県知事より表彰を受けている。

幼児向けの交通安全教室は「うさちゃんクラブ」と呼ばれており、人形劇や紙芝居などを通じて、楽しみながら交通安全を学ぶことができるようになっている。人形劇で活躍するのは、パペットの「うさぎのミミちゃん」と「かめのゴーちゃん」。また、高齢者向けの交通安全教室「かめさんクラブ」で活躍するのは腹話術人形「けんちゃん」。どちらも、30年以上に渡って市民に愛され、同市の交通安全教育を象徴するキャラクターとなっている。最近では、「親子二代でミミちゃん、ゴーちゃんにお世話になっています」という市民もいるそうだ。

尼崎市の交通安全教育の特徴の1つとして、吉本真弓さんは地域性を重視した指導を挙げる。「当市は関西圏にあり、生活の中には常に

「笑い」が存在します。ですから、交通安全教室でも「笑い」の要素を取り入れるようにしています。「おもしろいことを聞く」→「印象に残る」→「その時の交通安全の話の思い出」という流れをつくることによって、交通ルールとマナーの定着をめざしているという。

★パペットの「うさぎのミミちゃん」と「かめのゴーちゃん」
腹話術人形「けんちゃん」



★子どもたちに交通安全への興味を深めてもらうための工夫



原寸サイズの信号機のレンズを見せながら、信号の色の意味を説明



外国の交通ルールを紹介するための紙芝居

指導者の皆さんの活動を動画でご紹介

<http://www.honda.co.jp/safetyinfo/area/movie/>



水口猛さんが操る「けんちゃん」と吉本真弓さんとのユーモラスな掛け合いを通じて、高齢者を笑わせながら事故防止のポイントを伝える

子どもに人気の「ミミちゃん」と「ゴーちゃん」。交通安全教室では道路を横断する時の約束などをわかりやすく説明する



オリジナルの「かるた」。交通安全に関する言葉がわからない幼児にも対応できるように、大きなサイズの絵札を提示して、それと同じものを子どもに取ってもらう



交通安全教室で使用する手づくりのペーパーアート

SJクイズ ?

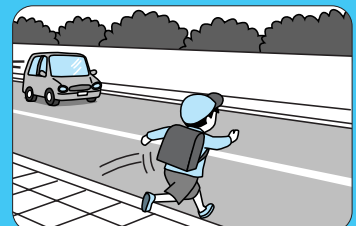
Q1 平成19～23年に発生した生活道路※上での四輪車対歩行者の死傷事故は1万932件。事故に遭った歩行者を年齢層別にみると、12歳以下の子どもが占める割合は、次のうちどれでしょう？

※車道幅員が5.5m未満の道路と、交差する道路が共に5.5m未満の交差点を生活道路として定義

- ①約7% ②約17%
③約27% ④約37%

Q2 生活道路上での子ども(12歳以下)の死傷事故件数(平成19～23年)を事故類型別にみると、最も多いのは次のうちどれでしょう？

- ①対面通行中 ②背面通行中
③横断歩道外横断中 ④路上遊戯中



Q3 生活道路上での横断歩道外横断中の四輪車対歩行者(12歳以下)の死傷事故件数(平成19～23年)を法令違反別にみると、四輪車側の違反で最も多いのは「安全不確認」ですが、2番目に多いのは次のうちどれでしょう？

- ①動静不注視 ②安全速度違反
③徐行場所違反 ④交差点安全進行義務違反

※「解答」は8面下。「解説」は下記SJホームページでご覧いただけます。<http://www.honda.co.jp/safetyinfo/sj/>

©本田技研工業(株)